

高見順 「草のいのちを」

太宰治 「嘘」

宮沢賢治 「やまなし」

朗読 長尾奈奈

2025年11月8日（土）14時30分開演

会場 日本近代文学館

主催 ROUNDOKU.TALKER.JP

協力 株式会社仕事



高見順「草のいのちを」

太宰治「嘘」

宮沢賢治「やまなし」

朗読タイムレスストーリーシリーズ⑧

●高見順「草のいのちを」。戦後間もないある日、友人の家を訪ねた「私」は、その弟・清治と出くわす。特攻隊の生き残りの彼は、生きる氣力を失い、自暴自棄になっている。何か言わなくてはならない思いながら、思わず詩を口ずさみはじめた……。

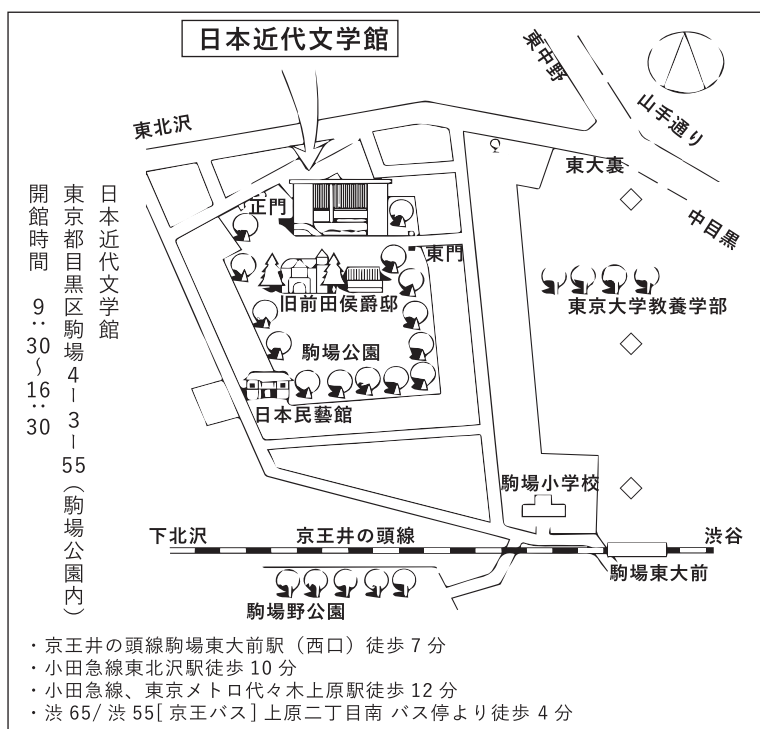
●太宰治「嘘」。津軽の生家に居候していた頃、名誉職についた同級生から聞いた話。ある大雪の夜、警察署長がやって来て、「絶対に秘密にして置いて下さい。脱走事件です。」と告げた。部隊の営門まで送りどけたはずの遠縁の男が、入隊していないという。署長と一緒に彼の家へ出掛けると……。

●宮沢賢治「やまなし」。五月、「クラムボン」はかぶかぶわらったよ。」と、蟹の兄弟は話している。頭上の魚が鉄砲玉のようなものに攫われ、それが鳥だと知る。十二月、月を仰ぎ泡の大きさを競っていると、突然、黒く大きなものが、トブンと落ちてきて……。

朗読 長尾奈奈

仲代達矢主宰の「無名塾」に二十四期生として入塾。同年『セールスマンの死』で初舞台。以降、舞台、映画と活動の幅を広げている。主な出演作に、ヴァンニャ・ダルカンタラ監督によるベルギー・フランス・カナダ合作映画『KOKORO』、木村文洋監督による『息衝く』がある。また声の仕事には、佐藤大介監督『狭霧の國』があり、オーディオブック声の書店「日本近代文学名作選」のナレーションも務めている。

◇ ◇ ◇
当日は日本近代文学館にて、「滅亡」を体験するー戦渦と文学」、併設の川端康成記念室にて、「川端康成の本」の展覧会開催日となります。よろしければ、あわせてご覧ください。(受付一階／拝観料一般300円、中学生・高校生100円)



2025年11月8日(土) 14時30分開演

※受付・開場は14時より

前売開始 9月4日(木)

料金 一般2000円／高校生以下1000円(要証明書)

チケット取扱い <https://roudoku.talker.jp/>

お問い合わせ info@roudoku.talker.jp

※当日券は14時より、若干枚数販売いたします。ご精算は現金のみとなります。
※記載以外の各種割引はございません。

会場 日本近代文学館

主催 ROUDOKU.TALKER.JP

協力 株式会社 仕事

